



大阪科学・大学記者クラブ 御中

取材申込等、詳細は2頁目をご覧ください。

2021年7月6日
大阪市立大学

まだ知られていない大阪の史跡・文化財に注目！

文学研究科教員が学生とともに大阪の歴史をめぐります！

2021年7月13日（火）、大阪市立大学大学院 文学研究科 仁木 宏教授が日本史を学ぶ学生とともにこれまで知られていなかった大阪の史跡・文化財をめぐります。有名な観光スポットではなく、最新の歴史学に基づいた、一般には知られていない魅力ある史跡を訪れます。

開催日時：2021年7月13日（火）10:00～13:00

※雨天決行（台風などの荒天の場合は中止）

コース：JR 桃谷駅から Osaka Metro 恵美須町駅周辺まで

参加者：大阪市立大学大学院文学研究科 仁木 宏教授、他学生4名

大阪府各地に残された史跡や文化財に対する関心は近年一層高まっており、国内のみならず海外からの観光客にも注目されています。一方で、その関心は大阪城など特定の史跡・文化財に集中しがちです。仁木教授らの研究グループは、大阪の歴史の豊かさに触れるためには、一般には知られていない史跡や再評価されるべき歴史遺産にも目を向けるべきだと考え、古代の難波京の「朱雀大路」と東西道路の交差点であった夕陽ヶ丘高校付近（写真1）や四天王寺の外縁部（写真2）をはじめとするこれまであまり注目されなかった大阪の魅力の発見に尽力しています。



（写真1）夕陽ヶ丘高校付近



（写真2）四天王寺の外縁部

仁木教授らの研究グループは8月初旬に、府内各所の史跡・文化財の歴史に触れながら町歩きのコースを提示する新しい形でのガイドブック型の書籍『歴史家の案内する大阪』（刊行：文理閣）を出版予定です。本書籍は単に主な史跡・文化財を紹介するだけではなく、専門家による大阪の歴史ツアーが疑似体験できるような工夫がなされています。今回は本書籍に即したルートで執筆者の一人である仁木教授が案内します。

上町台地周辺は、古代から現代まで、大阪の重層する歴史を体感できる貴重な舞台です。とりわけ今回訪れる四天王寺界限には、古代難波京、中世四天王寺、近世の豊臣大坂城下町の史跡が集中的に残っています。上町台地を東から西へ横断しながら地形に刻まれた歴史を現場で紐解いてゆきましょう。



仁木 宏教授



【取材申込みについて】

取材を希望される場合は、出来るだけ7月12日（月）正午までに広報課（06-6605-3411 / t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp）に電話あるいはメールで①ご所属 ②氏名 ③当日の連絡先 をお知らせいただきますようお願いいたします。ご参加をお待ちしております。

開催日時：2021年7月13日（火）10：00～13：00

集合場所：JR大阪環状線 桃谷駅南口改札

コース：JR桃谷駅からOsaka Metro 恵美須町駅周辺まで

参加者：大阪市立大学大学院 文学研究科 仁木 宏教授、他学生4名

開始時間前に上記集合場所へ直接お越しください。

当日は、こまめな水分補給、帽子の着用など、熱中症の予防に努めていただきますようお願いいたします。また、新型コロナウイルス感染拡大予防対策を講じた上で実施いたしますが各社さま最小限の人数でのご参加をお願いいたします

【研究内容に関するお問い合わせ先】

大阪市立大学大学院

文学研究科

教授：仁木 宏（にき ひろし）

E-mail：niki@osaka-cu.ac.jp

【報道に関するお問い合わせ先】

大阪市立大学 広報課

担当：國田

TEL：06-6605-3411

E-mail：t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp